

事故を防ぐためには…

乳幼児がいるご家庭で踏み台を入手する場合は、可動部やかみ合う部分のない、一体構造や組立式の商品を選択することを検討しましょう



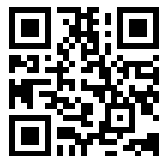
乳幼児が折りたたみ式踏み台につかまり立ちをしたり、押したり引っ張ったり衝撃を与えると、不意に折りたたまれる可能性があります。展開や折りたたみに伴い、隙間が狭くなっていくこともあります。このようなとき、手指が隙間に入って挟まれると、負傷や切断に至る可能性があります。一体構造や組立式の踏み台を選択することは、事故防止の観点から有効です。

折りたたみ式踏み台の可動部やかみ合う部分の隙間に手指を挟まないよう注意しましょう

大人でも、天板と脚部の隙間に手指を挟みこんだ場合、負傷する危険性がありました。使用する際は、各部の動きを確認しておき、できるだけ可動部やかみ合う部分に触れないようにしましょう。

乳幼児が折りたたみ式踏み台に触れることがないように、管理・保管しましょう

使用状態に広げる際や折りたたむ途中、手指を挟みこむ可能性がある隙間があり、隙間の大きさが変わる箇所があります。乳幼児の力でも形を変えることができ、隙間に手指を挿しこむ可能性があり、手指が挟みこまれるとわずかな力で負傷する危険性があります。乳幼児が折りたたみ式踏み台に触れないよう、管理・保管しましょう。



本内容の詳細は、独立行政法人
国民生活センター公式サイトに
掲載しています。

<https://www.kokusen.go.jp>

くらしの危険

最新号やバックナンバーは
こちらからご覧いただけます。

公式サイト「くらしの危険」コーナー

<https://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>



●「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。●特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。●商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。●無断転載はお断りいたします。



独立行政法人
国民生活センター

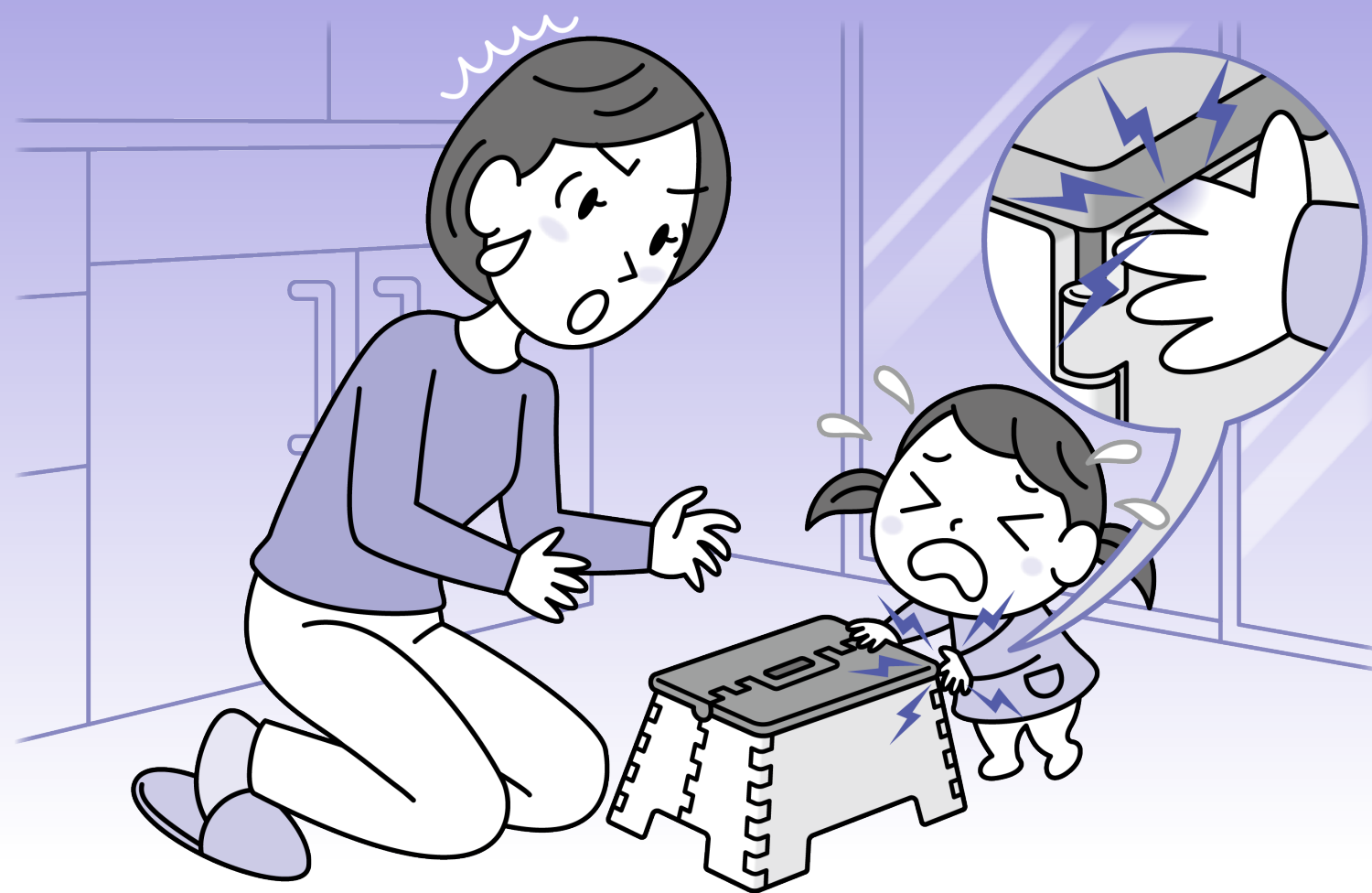
〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ●2022年 11月発行
イラスト: 川崎 敏郎

くらしの危険

Number 370

樹脂製の 折りたたみ式踏み台での指挟みに注意!

— 乳幼児が手指の先を切断する事故が発生しています —

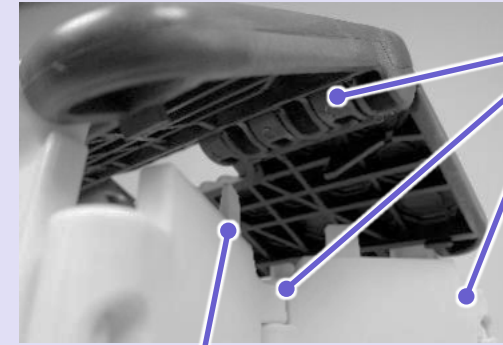
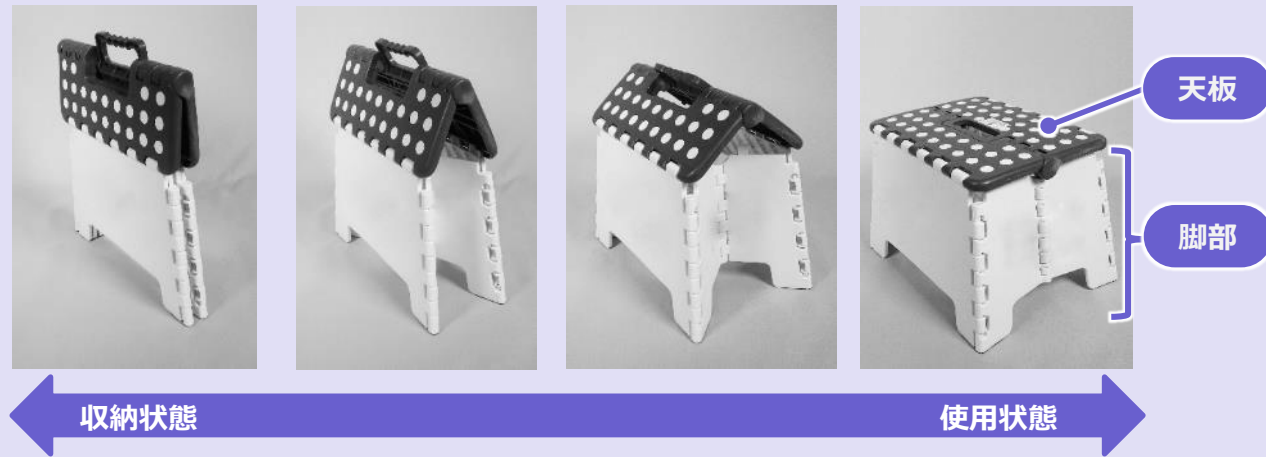


高い場所にあるものを取るときに使う脚立や踏み台。

近年、家具や家電と壁の狭い隙間に折りたたんで収納しておき、使用時に展開する樹脂製の折りたたみ式踏み台が販売されています。保護者などが折りたたみ式踏み台をたたんだ際に、幼児の手指の先端が隙間に挟まれ、負傷したという事故が発生しています。

折りたたみ式踏み台とは

主として樹脂が用いられているため軽く、天板や脚部を折りたたんで狭い隙間に収納できるようになっているものです。使用する状態では、広げられた脚部上で天板が水平になる構造で、上に乗ることができるようになっています。天板の持ち手の形状、脚部の形状、使用する状態における天板の高さ等、デザインや仕様は銘柄ごとにさまざま、背もたれ付きの銘柄もあります。



折りたたみ機構

板同士の接続部に、開閉や角度を変えることができるようにする部品が設けられています。使用する状態から天板の中央を上方に持ち上げると天板と脚部が折りたたまれる構造です。

形状を維持する機構

使用する状態では、脚部上部にある突起と、天板裏側にあるくぼみがかみ合うことによって、脚部が折りたたまれにくくなっています。



動き方や隙間の有無について調べてみました

市販の10銘柄について、動き方の確認や隙間の測定等を行い、挟みこみが起こる要因があるのか調査しました。

天板を持ち上げる力

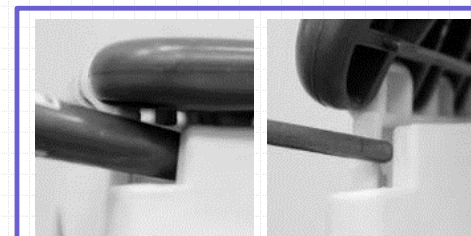
乳幼児の力でも容易に天板を持ち上げられ、天板と脚部の隙間を広げて、手指が入る隙間が生じる可能性があると考えられました。

隙間の有無

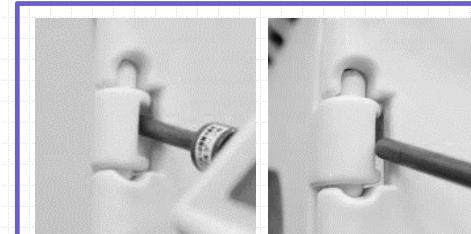
使用状態に広げる際や折りたたむ途中で、天板と脚部の間や脚部間の上部、折りたたみ機構部分に乳幼児の手指を挟みこむ可能性のある隙間がありました。

挟みこんだ場合に受傷する可能性

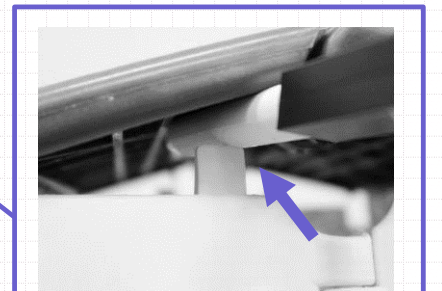
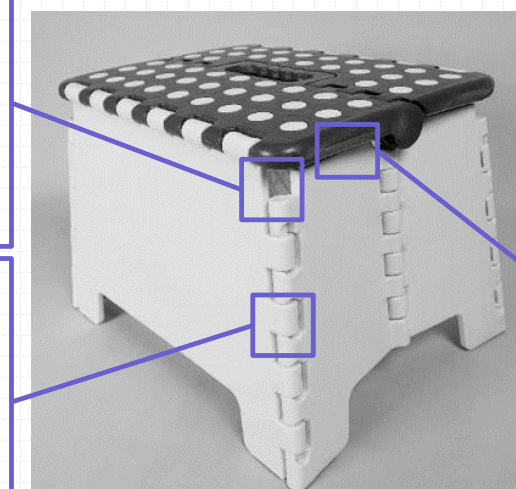
使用状態に広げる際や折りたたむ途中で狭い隙間に手指を挿しこんで挟んだ場合、先端を負傷する可能性がありました。挟まれる箇所によっては、大人の手指でもわずかな力で裂傷を負う可能性がありました。



折りたたんでいくと隙間が狭くなりました



広げると隙間が狭くなりました



手指を挟まれた状態で天板を押すとわずかな力でも負傷する可能性がありました



幼児が手指を負傷する事故が起きています

「医療機関ネットワーク※」に、幼児が折りたたみ式踏み台に手指をかけている際に折りたたまれて負傷したと考えられる事故情報が寄せられています。

※消費者庁と国民生活センターとの共同事業で、消費生活において生命または身体に被害が生じた事故に遭い、参画医療機関を受診したことによる事故情報を収集するもので、2010年12月から運用を開始しました。

ケース1

保護者が折りたたみ式踏み台の座面の取っ手部分を持ってたたんだ際に、児が踏み台の脚部分に手指を挟んで受傷した。左手小指から出血が止まらないため受診した。踏み台は児の年上のきょうだい用に購入したもの。

(事故発生年月: 2021年12月、1歳2カ月・男児)

ケース2

自宅で児が折りたたみ式踏み台を触っていたため年上のきょうだいが踏み台を横に引っ張った。保護者が注意すると、きょうだいがより強く引っ張ってしまい踏み台が折りたたまれて、踏み台の側面上部に児の右手示指が挟まれ切断された。

(事故発生年月: 2021年12月、1歳2カ月・男児)